

三八・上北圏域

大規模氾濫時の減災対策協議会

取組状況

八戸市 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定 【対象河川：新井田川、松館川、五戸川、奥入瀬川等5河川】

【平成29年度の主な実施内容】

○水防資機材の配備状況の確認。(H29年5月)



馬淵川水防センター倉庫



新井田川水防センター倉庫

○要配慮者利用施設の避難確保計画作成支援

- ・防災部局、河川部局、福祉部局、保健部局、教育委員会の関係課による庁内連絡会を開催。(H29年12月)

○水防工法訓練の支援

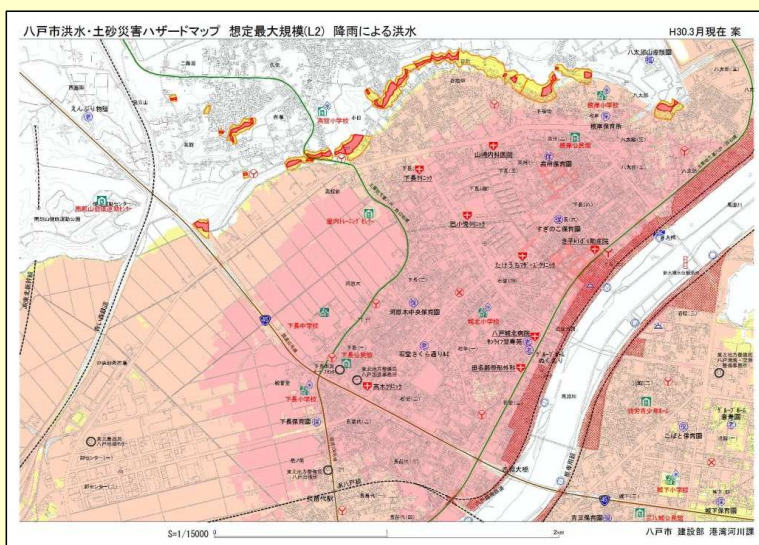
- ・自主防災組織の実施する水防工法訓練にあたり、作成指導、土のう袋提供等の支援を実施。



自主防災訓練(土のう作成等)

【平成30年度の主な実施内容】

○想定最大規模浸水区域を反映した洪水ハザードマップの作成。



(馬淵川想定最大規模の浸水想定区域等を反映した部分的イメージ図)

十和田市 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定 【対象河川：奥入瀬川、後藤川、藤島川、中里川等24河川】

【平成29年度の主な実施内容】

(2)-①重要水防箇所や水防資機材等について、関係者が共同で点検

- ・河川管理者(県)、水防管理団体(市、消防団)、消防本部等により、平成28年度台風第10号の際に奥入瀬川周辺において冠水等が発生した箇所及び県水防倉庫を合同で巡視



県水防倉庫巡視
H29.7.26撮影



奥入瀬川合同巡視
(赤沼地区)
H29.7.26撮影

【平成30年度の主な実施内容】

(1)-③防災行政無線の改良、防災ラジオの配布等情報伝達手段の整備

- ・市内全域への情報伝達手段の整備に向け、設計業務を実施予定



(2)-②市町村庁舎等の機能確保のための対策の充実(耐水化、非常用発電等の整備)

- ・災害時における機能確保を充実した新庁舎の建設(H29～)



新庁舎建設風景
H30.4.30撮影

五戸町 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定

【対象河川：五戸川、堤沢川、後藤川】

【平成29年度の主な実施内容】

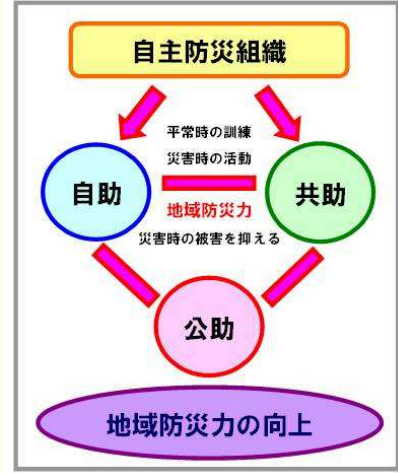
- 町広報誌及び町HPにて水防団員（消防団員）募集の記事等を掲載
28年度 483名 29年度 473名（増減 △10名）
- 五戸町地域防災計画の見直し
五戸町地域防災計画（風水害等災害対策編・地震災害対策編）を平成30年3月に修正
- 五戸町避難勧告等に関するマニュアルの改定
洪水等を含む各種災害における「五戸町避難勧告等に関するマニュアル」を平成30年3月に改定

五戸町地域防災画概要版 ～自主防災の手引～



【平成30年度の主な実施内容】

- 町広報誌及び町HPへ水防団員（消防団員）募集の記事等を掲載予定
- 洪水ハザードマップ（浅水川分）の配付
見直しされた、浸水想定区域等を反映させたハザードマップを每户配布予定
- 自主防災組織の立ち上げ・育成事業
地域単位での自主防災組織を結成できるよう、説明会等を実施予定

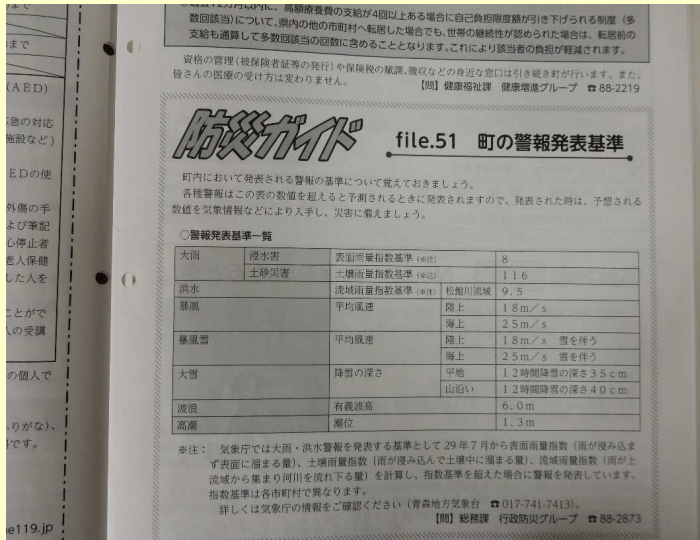


階上町 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定

【対象河川：松館川】

【平成29年度の主な実施内容】

- ・水防力強化のため消防団員の募集
- ・水防資材の補充・配備
- ・広報はしかみに「防災ガイド」を毎月掲載し、防災情報の提供



【平成30年度の主な実施内容】

- 昨年度に引き続き、
- ・水防力強化のため消防団員の募集
- ・水防資材の補充・配備
- ・広報はしかみに「防災ガイド」を毎月掲載し、防災情報の提供

及び、自主防災組織の体制強化を図ることを目的として

- ・自主防災組織独自の防災訓練の支援
- ・地域の防災リーダーを養成するための防災士育成

新郷村 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定

【対象河川：五戸川、三川目川、後藤川】

【平成29年度の主な実施内容】

○水防団(消防団)への加入呼びかけ。

年度	団員数	前年比
平成27年度	193	△3
平成28年度	191	△2
平成29年度	194	+3

積極的な呼びかけにより、団員数の増加につながった。

○防災行政無線のデジタル化

親局と屋外拡声子局4箇所の整備を行った。



○水防団員(消防団員)を対象に訓練を実施

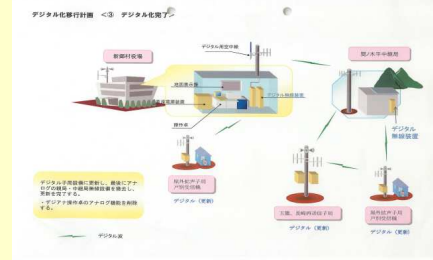


河川の氾濫を想定し、応急担架の作成方法や、ロープ結束方法等の訓練を行った。

【平成30年度の主な取組み予定】

○防災行政無線のデジタル化推進

屋外拡声子局17箇所の整備を行う。



○水防団(消防団)の募集

団員の高齢化や被用者率の増加等により、団員の確保が困難となってきたため、村広報紙及びHP等を活用し、団員の確保に努める。

○総合防災訓練の実施

地域住民、水防団員、防災関係機関等が合同で訓練を実施し、有事に備える。



六戸町 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定

【対象河川：奥入瀬川、後藤川】

【平成29年度の主な実施内容】

- ・避難勧告等の判断基準及び伝達マニュアルを改定
- ・町ホームページや広報、秋まつりにて消防(水防)団員の募集を実施
- ・消防ポンプ車を1台更新(小型動力ポンプ付積載車)
- ・Jアラート新型受信機の導入
- ・水防資機材の配備



消防(水防)団員募集(H29.8.31 秋まつり)

【平成30年度の主な実施内容】

- ・町地域防災計画の修正を行い、ホットラインについて明記
- ・消防(水防)団員の募集を継続実施
- ・自主防災組織の設立についての広報を実施
- ・消防団ポンプ車を1台更新(小型動力ポンプ付積載車)

自主防災組織を設立しましょう

もし、お住みの町で大規模自然災害が起こると、交通や通信網の麻痺により、自治体による災害対応が十分に果たされることが予想されます。このため、町民、町民有志が中心となり、自主防災組織を設立し、災害発生時に迅速に対応し、町民の生命と財産を守ることが重要です。

自主防災組織とは「自治体の組織は、自治体でやる」という意味であり、町民有志が中心となり、町民の生命と財産を守ることを目的とした組織です。自主防災組織は、町民の生命と財産を守るために、町民有志が中心となり、町民の生命と財産を守ることを目的とした組織です。

内容	金額	納入先	納入先	納入先	納入先
会費	3,000円	31,000円	200円	500円	1,000円

自主防災組織の設立に当たっては、町民有志が中心となり、町民の生命と財産を守ることを目的とした組織です。

要南もご覧ください



小型動力ポンプ付積載車

おいらせ町 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定 【対象河川：奥入瀬川、明神川、一の川、二の川】

【平成29年度の主な実施内容】

台風による暴風及び大雨洪水を想定した総合防災訓練（住民の避難行動訓練及び、災害対策本部図上訓練等）



○BCPの策定

大規模災害により庁舎や職員なども被災した場合を想定した業務継続計画を策定

○おいらせ町避難所運営マニュアルの改正
自主防災組織や避難した住民による避難所運営を想定し、要配慮者に対応できるよう実用的なマニュアルに改正

【平成30年度の主な実施内容】



○全町防災行政無線システムデジタル化及び新型Jアラート導入（平成29年度末完了）に伴う、災害情報等の正確かつ迅速な情報伝達の運用

○地域防災計画の改正

町で作成した各マニュアルや、国県のガイドラインの反映

○総合防災訓練の実施

東日本大震災後、様々な状況を想定し毎年会場を変えて実施してきた町の総合防災訓練を、平成30年度はイオンモール下田を会場として実施。子供からお年寄りまで広く町民の防災意識向上を意図し、町の防災体制を周知する。

六ヶ所村 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定 【対象河川：戸鎖川、室ノ久保川、明神川】

【平成29年度の主な実施内容】

○ホットラインの構築

・河川管理者（県）から村長へ直接、河川水位の状況及び危険度のレベルを適確かつ確実に提供を受ける体制（ホットライン）の構築。

○ICT等を活用した洪水情報の提供

・プッシュ型の洪水予報等をエリアメールにより情報発信。

○防災士資格取得講座の実施

・地域の防災力向上のため村民50名を対象に実施。

○防災教育の実施

・村立泊・千歳中学校に対して、防災研修を実施。

○水防に関する広報の充実

・ケーブルテレビ、防災ガイドブックによる広報。



【平成30年度の主な実施内容】

○ホットラインの運用についての検討

・泊地区明神川に水位計設置後、氾濫注意情報等の水位の設定と、運用の検討

○重要水防箇所や水防資機材等について、関係者が共同で点検

・国又は県が実施する重要水防箇所の合同巡視への参加

○防災教育等の継続

・指導計画書を、村内小中学校へ共有する。
・防災訓練、防災講話などを継続して実施。



青森地方気象台 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定

【平成29年度の主な実施内容】

- ・大雨警報（浸水害）洪水警報の発表基準を変更
- ・市町村内のどこで危険度が高まっているか、確認できる危険度分布の予測（メッシュ情報）の提供

気象庁HPで提供

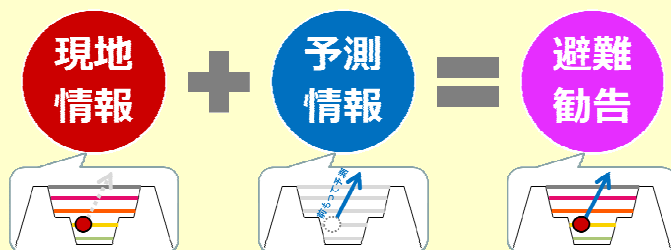


「危険度を色分けした時系列」と「警報級の可能性」も気象庁HPで提供

【平成30年度の主な取組み予定】

平成29年から警報等が発表されたときに、実際に危険度が高まる時間帯と場所を把握できる情報の提供を開始。今後は、市町村の防災担当者や住民が、現地情報と合わせることで、避難勧告や避難開始を判断できるように周知・啓発に努めていく。

市町村長の避難勧告
住民の主体的避難



色を持つ意味	説明	内閣府のガイドラインの発令基準に対応する避難情報
極めて危険 すでに基準Ⅲに到達	流域雨量指数の実況値が過去の重大な洪水発生時に匹敵する値にすでに到達。重大な洪水害がすでに発生しているおそれが高い極めて危険な状況。	
非常に危険 3時間先までに基準Ⅲに到達すると予測	水位周知河川・その他河川がさらに増水し、今後氾濫し、重大な洪水害が発生するおそれが高い。水位が氾濫注意水位等を越えている場合には速やかに避難を開始する。	氾濫注意水位等を越えていれば 避難勧告
警戒（警報級） 3時間先までに基準Ⅱに到達すると予測	水位が水防団待機水位等を越えている場合には避難の準備をして早めの避難を心がける。高齢者等は速やかに避難を開始する。	水防団待機水位等を越えていれば 避難準備 ・高齢者等避難開始
注意（注意報級） 3時間先までに基準Ⅰに到達すると予測	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意する。	
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	

防災危機管理課 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定

【平成29年度の主な実施内容】

○防災教育や防災知識の普及

- ・青森市、八戸市などで防災全般に関する講習会等を計16回開催



○広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

- ・平成30年3月13日に弘前市内、3月19日に八戸市内で開催された国主催の減災対策協議会勉強会において、構成員に対し広域避難計画に係る講演を実施

○市町村が実施する訓練の支援等

- ・市町村の防災訓練に対する指導及び支援、県と市町村の共同訓練を県内5市町で実施

【平成30年度の主な実施内容】

○防災教育や防災知識の普及

- ・昨年度に引き続き、要望に応じて講習会を開催
- ・今年度、県内全世帯に配布する「青森県防災ハンドブック」を用いた普及啓発



○広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等

- ・市町村の広域避難計画の作成支援（指導・助言、市町村間の調整等）

○市町村が実施する訓練の支援等

- ・市町村の防災訓練に対する指導及び支援、県と市町村の共同訓練の実施（H30年度現時点では3市町）

河川砂防課 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定

【平成29年度の主な実施内容】

○ホットラインの構築

- 河川管理者（県）から市長村長へ直接、河川水位の状況及び危険度のレベルを的確かつ確実に提供する体制（ホットライン）の構築

○想定最大規模降雨による浸水想定区域等の作成

- 新井田川及び奥入瀬川において、想定最大規模降雨による浸水想定区域等について検討
- 平成30年度の公表を予定

○浸水実績図の作成、公表

- 洪水被害に対するリスクを地域住民に周知するため、奥入瀬川等において、過去の洪水を対象とし痕跡調査結果を基に作成し、県ホームページで公表

対象河川	対象洪水	対象市町村
奥入瀬川	昭和50年8月	十和田市、六戸町
後藤川	平成11年7月	十和田市、六戸町
藤島川	同上	十和田市
新井田川	同上	八戸市
頃巻川	同上	八戸市



(公表ページアドレス) http://www.pref.aomori.lg.jp/life/bosai/shinsui_jisseki.html

○重要水防箇所の合同巡視

- 水防管理団体（市町村）及び河川管理者（県）等により、洪水に対しリスクの高い箇所を合同で巡視
- 三八地域整備部では新井田川、松館川を対象に4箇所を実施
- 上北地域整備部では県水防倉庫、奥入瀬川4箇所及び水位観測局2箇所を対象に実施

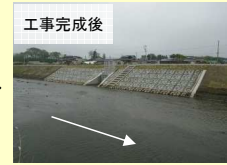


○洪水氾濫を未然に防ぐ対策

- 三八地域整備部管内では、五戸川等において、流下阻害となる堆積土砂の掘削、雑木の伐採を実施。



- 上北地域整備部管内では、明神川において、河道掘削及び築堤等を実施。



河川砂防課 平成29年度主な実施内容及び今後の取組予定

【平成30年度の主な実施内容】

○危機管理型水位計等の設置

- 住民避難や水防活動に資する基盤整備として、県内80箇所に設置することとした危機管理型水位計のうち、7河川7箇所に危機管理型水位計を設置

水位計設置箇所



・上北地域県民局管内の二級水系4河川4箇所に危機管理型水位計を設置

・三八地域県民局管内の二級水系3河川3箇所に危機管理型水位計を設置

<H30危機管理型水位計設置予定河川>

【三八地域整備部管内】

水系	河川	設置数	市町村
新井田川	頃巻川	1基	八戸市
	古里川	1基	八戸市
五戸川	三川目川	1基	新郷村

【上北地域整備部管内】

水系	河川	設置数	市町村
奥入瀬川	藤島川	1基	十和田市
一の川	一の川	1基	おいらせ町
二の川	二の川	1基	おいらせ町
明神川	明神川	1基	六ヶ所村

○避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成に着手

- 新井田川等4河川において、避難勧告の発令に着目したタイムラインを作成

○想定最大規模降雨による浸水想定区域等の作成

- 五戸川において、想定最大規模降雨による浸水想定区域等について検討（平成31年度公表予定）

○緊急排水計画の策定に着手

- 氾濫発生時における氾濫水の排水による浸水継続時間短縮を図るため、緊急排水計画の策定に着手



- 浸水継続時間の短縮により、氾濫被害軽減、緊急輸送路の早期確保及び被災地の早期復旧等が図られる

- 平成30年度は、アンケート等により民間及び圏域市町村のポンプ保有状況を調査し、排水ポンプの緊急配備における実効性や課題等の検証を行う



○重要水防箇所の合同巡視

- 水防団、水防管理団体（市町村）及び河川管理者（県）等による河川の合同巡視を継続して実施。

実施予定河川(二級河川)
後藤川、藤島川、小林川、一の川、二の川、明神川(おいらせ町)